

山下雄平新聞

<発行元>
 山下雄平後援会
 〒840-0801
 佐賀県佐賀市駅前中央
 三丁目6-11
 TEL:0952-37-8290
 FAX:0952-37-8291

百五十日の国会閉幕

通常国会が六月十八日に閉会しました。天皇陛下の皇位に関する特例法や給付型奨学金の創設、農業の収入保険制度の導入など例年以上に重要な案件が目白押しで国会となりました。私は本会議場での登壇を含め計十一回、質問などの機会を得ました。

国会で佐賀県として再稼働を同意した玄海原子力発電所を取り上げました。代替緊急時対策所の状況、長期間停止した原発を再稼働する際



のリスク、審査する側の態勢などについて疑問点を質しました。田中俊一規制委員長は「福島第一原発のような事故は二度

と起こさないという重層な備えをしていく。万が一のことを踏まえて、防災避難計画を作ることが大事だ。私も出向いて説明をしたいと思うし、更田(豊志次期委員長)さんもそういった趣旨は十分酌んでいただけたらと思う」と述べ、再稼働後に規制委員長が現地を訪問する考えを示しました。

一人親家庭での子供の貧困についても問題提起しました。佐賀県でも「シングルマザー」の方が養育費を払ってもらえず生活が苦しんでいるという話を聞きます。

養育費の取り決めのあり方や強制執行を担保するために元夫(元妻)の居場所や財産を調査する手段に関して、民法上の論点を提案しました。今後、法改正も含め検討していく必要があります。

二〇二〇年東京五輪・パラリンピックを見据えたテロ対策を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法におい

ても、委員会の理事として尽力しました。法律の成立により国際条約に加盟でき、犯罪人の引き渡しや捜査情報の共有などで各国との連携が深まります。

一方、他の国々の法律と比べてかなり抑制的な内容で、国民の自由・人権と組織犯罪対策のバランスに腐心しています。この法律だけで組織犯罪対策が終わる訳ではないので、日本の安心安全のため、今後も努力を重ねていきます。

子ども保険を提言



自民党の同世代の国会議員で検討してきた「子ども保険」創設を安倍晋三首相に提言しました。

他の先進国に比べ、子育てなど家族関係の支出が少ないこと(政府の支援の薄さ)が出生率の低さの一因だとも言われています。年金・医療・介護といった社会保

小学校で教壇に



富南市の諸富南小学校で5月15日に6年生のクラスで授業をしました。

いろいろな職業の人が先生役となる「キャリア教育」の授業。私は赤信号を渡ってはいけないと決めているのも国だということ、小学校に行かなくちゃいけないのはなぜか、など小学生の生活と国政の関わりを説明しました。

社会について考えるきっかけになればと思います。

険に加え、子ども保険を創設し、保育や幼児教育などを支援することを考えています。

首相は我々が立案した子ども保険の仕組みを既にご存知のようで、政府の中で年末に向け具体的に検討する考えを示されました。

子供たちの能力を伸ばし、チャレンジしやすい社会をつくりたいかなければいけません。